

# enplas

平成23年3月期(第50期)中間報告書

(平成22年4月1日から平成22年9月30日まで)

株式会社 **エンプラス**

(証券コード：6961)



## エンプラス企業理念

Enplas Corporate Philosophy

### わが社の使命

信頼の絆をもとに、あらゆる変化に対応する強靱な経営基盤を堅持し、

1. お客様に感謝される製品とサービスを提供します。
2. 能力と成果を公正に評価し、社員の生きがいを育みます。
3. 株主の皆さまの期待に応え、企業価値の向上を目指します。

これらの実践を通して豊かな社会の発展に貢献します。

### 事業領域

エンジニアリングプラスチックで培った先進技術をもとに、さらに最先端技術を追求し、

創造的価値を世界市場に提供します。

### 経営姿勢

1. 卓越した技術と信頼される製品により、競争力と成長力を追求します。
2. 健全な財務体質により着実な発展を図ります。
3. 全ての企業活動において確かな品質に責任を持ちます。

### 行動指針

1. 創造的な目標を掲げ、情熱を持って挑戦します。
2. 感謝の心と学ぶ姿勢を大切にします。
3. 公私を明確にし、公明正大に行動します。

#### 目次

エンプラス企業理念	1	四半期連結財務諸表	7
株主の皆様へ	2	会社概要・株式情報	9
事業の概況	3	事業所・グループ会社紹介	10
部門別概況	5		



株主の皆様には、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

世界経済は、中国など新興国の経済成長に伴った輸出の増加や各種経済対策効果により、改善の兆しが見え始めていたものの、欧米等海外経済への懸念など本格的な景気回復には不透明な状況にあります。当社を取り巻く事業環境におきましても、緩やかな回復基調となったものの、急激な円高の進行や株価の下落などが大きく影響し、依然として予断を許さない状況が続いているものと認識しております。

このような状況の中、当社では基幹事業であるエンブレ事業においては、顧客グローバル拠点へさらなる営業活動の強化を推進し、半導体機器事業は顧客との密接な開発推進による拡販を、また、オプト事業は技術優位性による競争力の強化とともに次世代製品の開発を積極的に取り組んでまいりました。

下期以降につきましても、円高など市場環境の変化に即応しながら、製品競争力の強化を図るため、研究開発、グローバルでの最適生産と原価低減、そしてより高い品質の向上に努めてまいります。

当社では、経営活動の成果を明確な形で株主の皆様へ還元することを基本方針とし、また安定的配当の考え方も取り入れ、今期以降の業績予想を勘案して中間配当を一株当たり7.5円とさせていただきます。

先行き不透明な状況が継続するものと想定されますが、社員一同、お客さまに感謝されるサービスや価値を提供し、信頼の向上に努めてまいります。

株主の皆様には、今後ともより一層のご支援とご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成22年12月

代表取締役社長

横田大輔

## 事業の概況

当第2四半期累計期間における経済環境は、新興国経済の成長に伴う輸出や生産の伸長、各国の経済対策効果により回復基調のもとで推移しました。しかしながら、米国・中国の景気の先行き懸念、円高の長期化がもたらす輸出競争力の低下など、依然として不安要素を抱えた状況で推移しました。

このような経営環境の中、当社グループの基幹事業であるエンブラ事業はグローバル営業活動の強化、半導体機器事業は開発推進を顧客と密接に推進することによる拡販、また、オプト事業は技術優位性と原価低減による競争力の強化とともに、次世代製品の開発を積極的に取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期累計期間の売上高は11,338百万円（前年同期比41.3%増）となりました。収益面におきましても、営業利益は975百万円（前年同期324百万円の営業損失）、経常利益は912百万円（前年同期327百万円の経常損失）となり、四半期純利益は、負のものの発生による特別利益や厚生年金基金脱退に伴う脱退

特別掛金等の特別損失の計上により、289百万円（前年同期440百万円の四半期純損失）となりました。

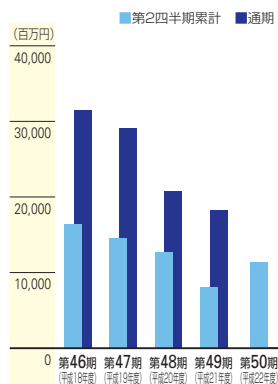
### 第50期経営基本方針

1. 感謝されるサービス・価値の提供
2. グローバル事業の基盤強化
3. エンブラスDNAの確認と醸成

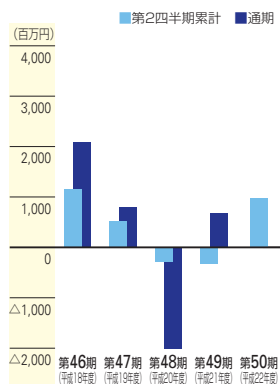
## 連結業績の推移

	第46期		第47期		第48期		第49期		第50期
	中間 平成18年4月1日から 平成18年9月30日まで	通期 平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで	中間 平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで	通期 平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで	第2四半期累計 平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで	通期 平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで	第2四半期累計 平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで	通期 平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで	第2四半期累計 平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで
売上高 (百万円)	16,343	31,444	14,498	29,112	12,643	20,796	8,022	18,221	11,338
営業利益(△損失) (百万円)	1,157	2,094	522	796	△ 294	△ 2,008	△ 324	683	975
経常利益(△損失) (百万円)	1,196	2,173	542	763	△ 106	△ 1,721	△ 327	654	912
四半期(当期)純利益(△純損失) (百万円)	△ 141	17	△ 1,221	△ 1,164	△ 1,094	△ 7,188	△ 440	256	289
普通株式： 1株当り四半期(当期)純利益(△純損失) (円)	△ 6.90	0.87	△ 63.95	△ 62.82	△ 64.47	△ 435.52	△ 28.57	16.71	18.89
総資産 (百万円)	49,965	49,409	46,516	42,863	40,358	32,500	30,782	32,312	31,704
純資産 (百万円)	45,102	44,494	40,985	38,351	36,558	28,521	27,440	28,546	27,957
普通株式： 1株当り純資産 (円)	2,214.68	2,246.51	2,197.63	2,200.09	2,166.22	1,832.50	1,778.23	1,845.21	1,815.86
1株当り配当金 (円)	10.00	20.00	5.00	10.00	5.00	10.00	5.00	12.50	7.50

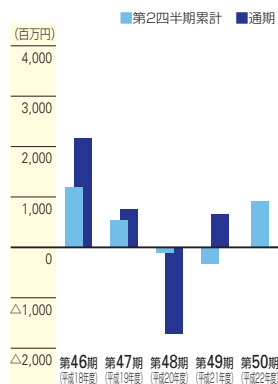
■売上高



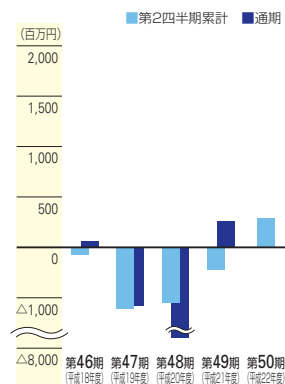
■営業利益(△損失)



■経常利益(△損失)



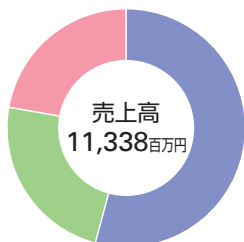
■四半期(当期)純利益(△純損失)



### 連結製品群別売上構成

#### 第50期第2四半期連結累計

(平成22年4月1日から平成22年9月30日まで)



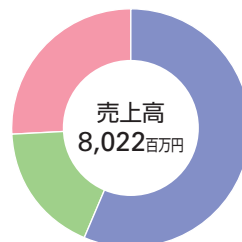
■エンブラ事業	6,173百万円 (54.4%)
■半導体機器事業	2,671百万円 (23.6%)
■オプト事業	2,493百万円 (22.0%)

(旧LED関連事業含む)

### 連結製品群別売上構成

#### 第49期第2四半期連結累計

(平成21年4月1日から平成21年9月30日まで)

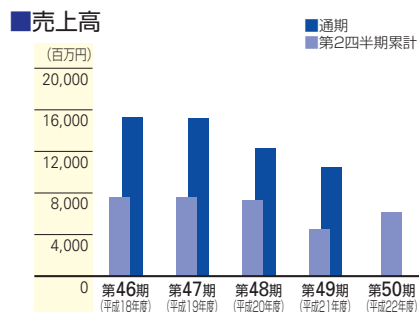


■エンブラ事業	4,535百万円 (56.5%)
■半導体機器事業	1,434百万円 (17.9%)
■オプト事業	2,052百万円 (25.6%)

(旧LED関連事業含む 508百万円)

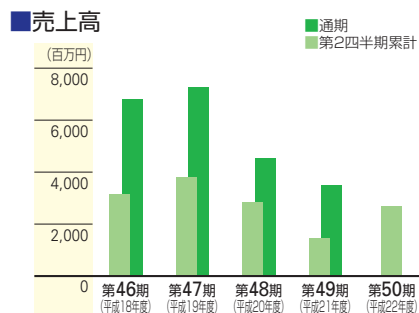
## エンブラ事業

顧客のグローバル拠点への営業活動強化によるビジネスの拡大、差別化技術による顧客提案の積極推進、自動車関連製品の顧客ニーズに沿った対応による営業活動と新規ビジネス獲得等を積極的に推進してまいりました。主力製品のOA機器、自動車関連製品等の売上も回復してきており、当第2四半期累計期間の連結売上高は6,173百万円（前年同期比36.1%増）、セグメント利益は447百万円となりました。



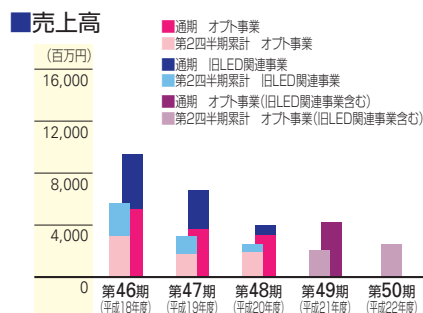
## 半導体機器事業

顧客との密接な開発推進による拡販と差別化技術によるシェア拡大、生産性向上による市場競争力の強化を図ってまいりました。半導体市場の回復も見られ、当第2四半期累計期間の連結売上高は2,671百万円（前年同期比86.2%増）、セグメント利益は424百万円となりました。



## オプト事業（旧LED関連事業含む）

生産体制の強化と技術優位性による競争力の強化、光通信次世代製品用レンズによるシェアのさらなる拡大を図ってまいりました。また、高品位拡散レンズの新規顧客の創出と積極的な市場開拓を推進したことにより、当第2四半期累計期間の連結売上高は2,493百万円（前年同期比21.5%増）、セグメント利益は103百万円となりました。



■ 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	当四半期	前四半期	前 期
	平成22年9月30日現在	平成21年9月30日現在	平成22年3月31日現在
<b>(資産の部)</b>			
流動資産	20,781,000	19,580,038	21,106,511
現金及び預金	12,165,424	12,079,626	12,456,738
受取手形及び売掛金	5,739,243	4,717,925	5,794,603
有価証券	400,000	700,000	400,000
製品	651,470	432,947	582,850
仕掛品	276,752	208,182	246,326
原材料及び貯蔵品	434,936	374,766	382,360
その他	1,123,101	1,084,413	1,260,119
貸倒引当金	△ 9,929	△ 17,823	△ 16,486
固定資産	10,923,751	11,202,399	11,206,313
有形固定資産	8,714,480	9,165,139	8,868,187
建物及び構築物(純額)	3,664,642	3,935,488	3,829,526
土地	3,158,649	3,165,073	3,174,871
その他(純額)	1,891,188	2,064,576	1,863,790
無形固定資産	916,893	679,025	928,907
のれん	—	1,777	888
その他	916,893	677,248	928,018
投資その他の資産	1,292,377	1,358,234	1,409,218
資産合計	31,704,751	30,782,437	32,312,825

(単位：千円)

科目	当四半期	前四半期	前 期
	平成22年9月30日現在	平成21年9月30日現在	平成22年3月31日現在
<b>(負債の部)</b>			
流動負債	2,673,832	3,019,464	3,426,931
買掛金	1,142,407	962,456	1,278,496
未払法人税等	202,325	132,837	203,939
賞与引当金	360,859	301,644	305,580
工場閉鎖損失引当金	—	757,000	757,000
その他	968,239	865,526	881,914
固定負債	1,073,155	322,285	339,791
退職給付引当金	90,033	63,219	79,379
役員退職慰労引当金	30,970	26,496	29,502
工場閉鎖損失引当金	757,000	—	—
その他	195,151	232,569	230,909
負債合計	3,746,987	3,341,749	3,766,722
<b>(純資産の部)</b>			
株主資本	29,457,846	28,663,088	29,283,466
資本金	8,080,454	8,080,454	8,080,454
資本剰余金	10,021,143	10,975,889	10,021,143
利益剰余金	18,321,106	17,525,650	18,146,534
自己株式	△ 6,964,858	△ 7,918,905	△ 6,964,665
評価・換算差額等	△ 1,635,279	△ 1,416,390	△ 1,011,059
新株予約権	119,427	24,139	72,055
少数株主持分	15,769	169,850	201,640
純資産合計	27,957,764	27,440,687	28,546,102
負債及び純資産合計	31,704,751	30,782,437	32,312,825



## ■ 四半期連結損益計算書

(単位：千円)

科目	当第2四半期累計 平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで	前第2四半期累計 平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで	前 期 平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで
売上高	11,338,295	8,022,371	18,221,548
売上原価	7,062,178	5,611,964	11,998,172
売上総利益	4,276,116	2,410,406	6,223,375
販売費及び一般管理費	3,300,277	2,734,865	5,540,112
営業利益(△損失)	975,838	△ 324,459	683,263
営業外収益	74,428	85,607	145,454
営業外費用	137,364	88,603	174,555
経常利益(△損失)	912,902	△ 327,455	654,162
特別利益	117,926	89,430	145,717
特別損失	515,255	89,152	177,199
税金等調整前四半期(当期) 純利益(△純損失)	515,573	△ 327,177	622,681
法人税、住民税及び事業税	284,415	103,656	314,530
法人税等調整額	△ 79,180	8,050	23,594
少数株主利益	20,850	1,744	27,689
四半期(当期)純利益(△純損失)	289,488	△ 440,630	256,866

## ■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	当第2四半期累計 平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで	前第2四半期累計 平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで	前 期 平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	876,446	△ 965,344	△ 377,641
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 352,235	△ 442,248	△ 1,011,557
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 122,924	△ 321,291	△ 398,092
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 247,486	△ 193,317	△ 72,609
現金及び現金同等物の増加額(△減少額)	153,800	△ 1,922,202	△ 1,859,901
現金及び現金同等物期首残高	12,019,663	13,883,700	13,883,700
連結除外に伴う現金及び 現金同等物の減少額	—	△ 4,134	△ 4,135
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	12,173,463	11,957,363	12,019,663

## 会社概要

商号	株式会社エンプラス
所在地	埼玉県川口市並木二丁目三十番一号
設立	1962年2月21日
資本金	80億8,045万円

## 役員

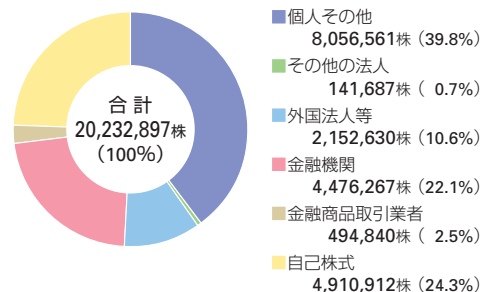
代表取締役社長	横田 大 輔
取締役	酒井 崇
取締役	菅原 昇
取締役	菊地 豊
取締役	小林 大三
取締役	笹倉 邦保
常勤監査役	坂下 光一
監査役	鈴木 貞男
監査役	落合 栄

## 株式情報

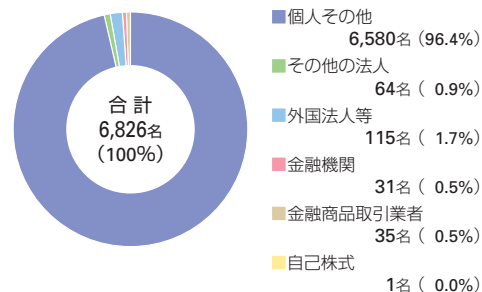
発行可能株式総数	62,400,000株
発行済株式総数	20,232,897株
株主数	6,826名

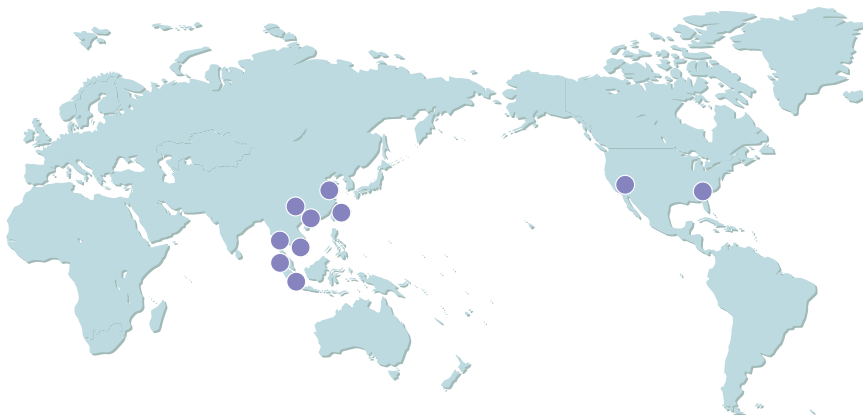
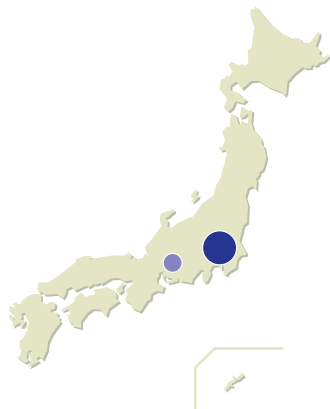
### 所有者別株式分布状況

#### 所有者別株式数



#### 所有者別株主数





## 事業所

### 本社

埼玉県川口市並木2丁目30番1号

### 川口事業所

埼玉県川口市弥平2丁目20番10号

### 鹿沼工場

栃木県鹿沼市さつき町7番2

### 名古屋営業所

愛知県名古屋市中村区名駅2丁目45番7号 松岡ビル12階

## 国内グループ会社

### QMS株式会社

埼玉県川口市上青木1丁目3番12号

### 株式会社エンプラス半導体機器

埼玉県川口市上青木1丁目19番57号

### 株式会社エンプラス精機

栃木県鹿沼市茂呂827番地3

## 海外グループ会社

### Enplas (U.S.A.), Inc.

1901 West Oak Circle, Marietta, Georgia 30062, U.S.A.

### Enplas Tesco, Inc.

765 North Mary Avenue, Sunnyvale, CA 94085-2909, U.S.A.

### Enplas Hi-Tech (Singapore) Pte. Ltd.

No. 28 Genting Lane, #07-03/04/05, Singapore 349585, Republic of Singapore

### Enplas Precision (Malaysia) Sdn. Bhd.

No.9&9A Jalan Hasil 2, Kawasan Perindustrian, Jalan Hasil 81200 Johor Bahru, Malaysia

### Enplas Precision (Thailand) Co., Ltd.

Hi-Tech Industrial Estate 104 Moo 1, Bhan Lain, Bang Pa-In, Ayutthaya 13160, Thailand

### Enplas (Vietnam) Co., Ltd.

K-3 Plot, Thang Long Industrial Park, Dong Anh District, Hanoi, Vietnam

### Enplas Hy-cad Electronics (Shanghai) Co., Ltd.

Floor 1, Standard Industrial Building 3, No.253 Ai Du Road, Shanghai Waigaoqiao Free Trade Zone, Shanghai 200131, P.R.C.

### Guangzhou Enplas Mechatronics Co., Ltd.

Floor 1, Standard Building 1, Hexing Industry Park, 10 Yongsheng Road, Yong He Economic Zone, Guangzhou Economic & Technological Development District, Guangzhou City 511356, P.R.C.

### Enplas Niching Technology Corporation

4F-1, No.27 Puding Road, Hsinchu City, 300 Taiwan, R.O.C.

### Enplas (Hong Kong) Limited

Suite 515, 5/F World Commerce Centre, Harbour City, 11 Canton Road, Tsim Sha Tsui, Kowloon, Hong Kong

## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年の3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	東京証券代行株式会社 東京都千代田区大手町二丁目6番2号(日本ビル4階) 取次事務は、中央三井信託銀行株式会社本店および 全国各支店で行っております。
郵便物送付先、連絡先	〒168-8522 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 東京証券代行株式会社 事務センター (お問い合わせ先) ☎0120-49-7009
基準日	定時株主総会の議決権 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
公告方法	電子公告 ( <a href="http://www.enplas.com">http://www.enplas.com</a> ) ただし、電子公告によることができないときは、日本経済 新聞に掲載する方法とします。 貸借対照表、損益計算書は、EDINET( <a href="http://info.edinet-fsa.go.jp/">http://info.edinet-fsa.go.jp/</a> )にて開示しております。
上場金融商品取引所	東京証券取引所 市場第一部

### ■住所変更・単元未満株式の買取等のお申し出について

お取引口座のある証券会社にお申し出ください。ただし、特別口座に記録された株式に係る各種手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関である東京証券代行株式会社にお申し出ください。

### ■未支払配当金のお支払について

株主名簿管理人である東京証券代行株式会社にお申し出ください。

## 株式会社 エンプラス

〒332-0034 埼玉県川口市並木2丁目30番1号  
Tel : 048-253-3131 (代表)  
Fax : 048-255-1688  
<http://www.enplas.com>

